平成２９年８月２８日

英国のＥＵ離脱に関する政府タスクフォース
第六回会合の開催について

１．　趣旨

英国のＥＵ離脱に関する政府の今後の対応について検討するために，８月２８日，英国のＥＵ離脱に関する政府タスクフォース第六回会合を開催。

２．　タスクフォース出席者

議 長	西村 康稔	内閣官房副長官
副議長	兼原 信克	内閣官房副長官補（外政）
副議長代理	平井 裕秀	内閣官房内閣審議官（内閣官房副長官補付）
構成員	籠宮 信雄	内閣府 大臣官房審議官（経済財政運営担当）
	佐々木 清隆	金融庁 総括審議官
	今林 顯一	総務省 情報通信国際戦略局長
	山野内 勘二	外務省 経済局長
	正木 靖	外務省 欧州局長
	柴﨑 澄哉	財務省 大臣官房審議官（関税局担当）
	橋本 泰宏	厚生労働省 大臣官房審議官
	横山 紳	農林水産省 大臣官房総括審議官（国際）
	田中 繁広	経済産業省 通商政策局長
	掛江 浩一郎	国土交通省 大臣官房審議官（国際）
	其田 真理	個人情報保護委員会 事務局長

３．　第六回タスクフォースの概要

（１）　８月２８日，英国のＥＵ離脱に関するタスクフォースの第六回会合が，議長である西村官房副長官の下，１０関係府省庁等が出席して開催された。

（２）　同会合では，各府省庁から，英・ＥＵ間の離脱交渉を始めとする，これまでの展開に関する情報や現時点の分析について報告の上，今後の対応につき検討を行った。

（３）　西村官房副長官からは，英国とＥＵの交渉の行方は引き続き流動的であるとしつつ，経団連を始め，我が国経済界からも累次，関心と懸念が表明されていることに言及した上で，政府としても，経済界の危機感を受け止め，英国のＥＵ離脱は日系企業のビジネスに直結する問題であるとの認識の下，引き続き，①情報の収集と分析，②日系企業への支援，③英国とＥＵへの働きかけについて最大限取り組むと述べた。

（４）　また，西村官房副長官から，関係省庁に対し，次の３点を指示する旨述べた。第一に，交渉の推移について，タイムリーかつ正確な情報の収集と分析をすること，第二に，現地日系企業を始めとする経済界から懸念や要望を汲み上げるとともに，相談への対応，セミナーの開催など，一層きめ細やかな支援（特に中小企業への情報提供）に取り組むこと，第三に，今週メイ英国首相が訪日する機会を活用するなどして英国及びＥＵに対し，引き続き我が国の関心，問題意識及び懸念を伝え，予見可能性と透明性が確保され，もって日系企業支援の実が上がるよう働きかけていくことについて指示があった。

（了）